

熱戦 第15回県選手権大会!

6月7日 熊本市富合町 雁回館体育館



第15回県選手権大会は、富合町の雁回館体育館で県内支部道場、大学クラブなどから105名が出場して開催された。午前中にブンセ競技、キヨルギの準決勝までが行われ、小学生から中学生までのジュニアと高校生以上の一般の部の21階級で県チャンピオンを目指して熱戦が繰り広げられた。

今回は6月のW杯から実施される新ルールを試験的に採用して行われたが、後ろ蹴りや後ろ回し蹴りなど回転技のポイントが高くなつたためなのか、試合の展開がスリリングで大技が出るたびに会場には歓声があがつた。男子フイン級は、寺本直暁選手(水前寺)が負傷しながらも決勝進出し、痛みにたえながら嬉しい勝利。フライ級では、今年2月の全日本選手権3位入賞を果たした中山北斗選手(強化本部)が、決勝で望月一馬選手(崇城大)と対戦。2ラウンドタイミングよく上段回し蹴りがヒットしKOでの勝利となつた。中山選手は昨年に統いてのフライ級連覇を果たした。バンタム級は、昨年の決勝戦と同じ対戦となり、重松威一郎選手(水前寺)が渡辺健太選手(強化本部)にせり勝ち同級の連覇を飾つた。フェザー級は、経験豊富な松本宇生選手(熊大)が後輩、新本克将選手(熊大)に勝利し優勝。ライト級では、阪上弘一選手(宇土)が一般の部での嬉しい初優勝を飾つた。ウェルター以上級は、ベテラン牧野信一選手(玉名)が九州大会6度優勝の貫禄を見せて頂点に立つ。一般女子の部決勝は、全日本2位の津田ひかる選手(阿蘇)と昨年度のチャンピオン本田千尋選手(阿蘇)の同門対決となり、津田選手が3-1で勝つて女子の部を制した。

開会式では県強化委員の樋口清輝選手を支援している企業(丸美屋)への感謝状授与式なども行われ、不況下の中にもテコンドー選手への支援を行う同社に対して会場からは大きな拍手が贈られた。大会の模様は当日夜の熊本県民テレビのニュースで放送された。大会当日の夜、熊本市内で懇親会が開かれ、県協会の名誉顧問 沢田一精元県知事も参加され、テコンドー談義に華が咲いた。

第1回熊本市大会開催!

7月12日 熊本県民総合運動公園体育館

5月に正式発足した熊本市テコンドー協会の記念すべき第1回大会が、7月12日、熊本県民総合運動公園体育館で熊本市協会に加盟する11団体から51名が出場し開催された。開会式では、新しく市協会顧問に就任した工藤勇参(熊本中央高校校長)、北井和利(熊本学園大学教授)の両氏が、選手を激励。「熊本市協会の発展のために一緒にがんばりましょう」と語った。試合はキヨルギのみ実施され、小学生から一般まで初の市チャンピオンを目指して白熱した戦いが繰り広げられた。

階級	1位	2位	3位	4位
小学男子1・2年生男子の部	山崎 蓮斗 託麻 佐藤日向太 頸台 東 雅人 水前寺 徳永 蓮弥 託麻			
小学男子3・4年生男子の部	吉田 聖人 託麻 大塚 理央 頸台 佐藤 肇 託麻 藤本 泰心 竜田			
小学男子5・6年生男子の部	川越 開斗 川尻 徳永 雅樹 託麻 吉田 聖那 託麻 徳永 一樹 託麻			
小学生女子の部	野田里香子 川尻 川越 有紗 川尻 徳永 莉央 託麻 大塚 麻由 頸台			
中学生男子の部	坂田 賢誠 童田 坂本 大晟 富合 徳永 大樹 託麻			
一般男子軽量級	坂田 憲紀 熊本大 平山 祐 熊本大 白地 政廣 熊本大 若松 孝樹 熊本大			
一般男子中量級	新本 克得 熊本大 松嶋 祐典 熊本大 森永 雄太 崇城大 廣瀬 翔平 学園大			
一般男子重量級	野口嘉津馬 熊本大 田中 健一 竜田 満見 裕之 熊本大 吉田 浩平 熊本大			
一般女子の部	本田 涼夏 強化本部 江藤 美沙 崇城大 伊住 真央 富合 西野由希子 熊本大			
最優秀選手賞	川越 開斗 川尻			

熊本市協会創立記念レセプション開かる!

7月12日 メルパルク熊本

第1回大会を無事に成功裏に終えた日、熊本市中心部にあるメルパルク熊本で、熊本市協会設立記念レセプションが行われた。同会には約80名が出席。開会にあたり県協会長で市協会長も兼ねることとなった樋口会長より設立の経緯、役員の紹介が行われ、沢田一精元熊本県知事、牛島弘熊本市議会議員の祝辞の後、米満弘之県日韓親善協会会长の発声で祝宴となつた。

祝宴では、サンフランシスコにあるヘイワード大学のテコンドー部から来日しているエドワード監督、アイビーコーチの特別ゲストの紹介に続き、県協会が6月の訪韓時に呉会長より頂いた貴重なレプリカ(安重根遺墨)を「天主教徒安重根」の著者である津留今朝寿氏へ樋口会長の計らいで贈呈することになり、この日、津留氏へ贈呈された。また、樋口清輝選手のユニフォームスポンサーとなっている丸美屋の東健社長や、熊本県民テレビの小川真人アナウンサーも登壇し、テコンドーへの思いを語つた。

同会には、県協会発足時の1985年、第5回全日本選手権に最初の県代表選手としてミドル・ヘビー合同級に出場した正木孝弘元川尻支部長も出席するなど、懐かしい面々も協会発足を祝つた。強化本部の演武なども行われ、終始和やかな会となつた。



レセプション記念撮影

テコンドーくまもと

TAEKWONDO KUMAMOTO

2009.6 ▶ 2009.9

Vol.29



県協会訪韓団

大田広域市会長旗大会へ参加

6月26日 大田広域市チョンム体育館

昨年、熊本県協会と姉妹結縁関係を結んだ韓国、大田広域市協会の第21回会長旗大会に、今回、県協会役員が招待され、6月25日から3日間に亘り大田広域市などを訪れた。樋口悦夫県協会会長と呉盧均(オノギュン)大田広域市協会会長(忠清大教授)とは、1998年から現在まで交流を続けているが、呉氏が一昨年、正式に大田広域市協会の会長に就任。昨年は熊本オープンに選手を派遣するなど、より活発な交流を行っている。県協会訪韓団は、25日、大田広域市協会事務所を訪れ呉会長と会談、今後の交流などについて意見を交わした。26日、チョンム体育館で開催された大会に出席。約1300名の選手が参加する大きな大会だけに開会式では、テコンドー関係者をはじめ、多くの来賓が出席。冒頭、呉会長から樋口会長へ協力杯が贈られると樋口会長から感謝状が呉会長へ贈られた。県協会訪韓団は大会観戦後、大田広域市協会の歓迎会に参加。日韓の交流をより深めた。開会式の模様は、インターネットニュースなどで放送された。



津田ひかる貫禄 V! 西村純、本田涼夏は準 V

全日本ジュニア選手権大会

7月26日 長野県松本市総合体育館

今年の全日本ジュニア選手権大会、県協会からは8名の選手が出席した。2月の全日本選手権で惜しくも2位となった津田ひかる選手(強化)だが、準決勝を4対1で快勝。決勝はTKOで勝利し貫禄を見せつけた。中学生バンタム級出場の西村純選手(阿蘇)も決勝に進み、準決勝で痛めた足をかばいながら健闘したものの兵庫の原田選手に1ポイント差で惜しくも敗れたが準優勝を獲得。同じく中学生女子ライト級出場の本田涼夏も決勝で敗れ準優勝となる。高校生ウェルター級出場の本田千尋選手(強化)、中学生女子バンタム級出場の中西美有選手(強化)も3位入賞を飾つた。小学生6年生の部に出場した西田亮(不知火)、川越開斗(川尻)、西村真利愛(阿蘇)は健闘するも初戦敗退となつた。



発行 熊本県テコンドー協会 / 熊本市南坪井町 4-23 MTビル 1F TEL&FAX 096-206-1772

ホームページ ▶ <http://www.kumamoto-taekwondo.jp>

Eメール ▶ info@kumamoto-taekwondo.jp

※大会結果の詳細はホームページに掲載

全日本柔道連盟会長就任祝賀会に会長、事務局長が出席 7月18日 ホテル日航

今年、全日本柔道連盟会長、講道館館長に就任された小川町出身の上村春樹氏の就任祝賀会が、ホテル日航で盛大に開催され、県協会から樋口会長、西田事務局長の2名が出席した。上村春樹氏は、1976年モントリオール五輪の金メダリストで、全柔連では強化委員長を務めるなど、その活躍と温厚な人柄で会長に抜擢された。上村氏は、柔道は強いばかりではダメ、人づくりも大事と柔道を通じての人材育成の重要性を説いた。テコンドーも同じく指導者、選手の人材育成が急務である。

韓国・忠清大学生ホームステイ歓迎会! 7月20日 メルパルク熊本



韓国・忠清大学生ホームステイ歓迎会

韓国忠清北道にある忠清大学は、テコンドーのオープン大会で有名な大学だが、数年前より同大学の徳永亮裕教授と交流のある樋口会長、熊本むくげ会とのホームステイ受け入れを行っているが、今年は、主に県テコンドー協会で受け入れることとなり、20日、同大学の学生10名引率教授1名を迎えての歓迎会が開催された。

同会には、ホストファミリー、県協会所属の大学生、筑紫汎三 熊本むくげ会会長、同大学へ空手道指導を行った木村光次菊池郡空手道連盟会長も出席し、参加した学生などから忠清大生へプレゼントが贈られ学生間の交流を深めた。23日までの3日間、それぞれのホスト先で熊本の文化風習を見聞する。

毎週ラジオでテコンドーを PR!

県協会岩下弘美広報副委員長は、熊本シティFMのパーソナリティとして活躍しているが、6月より毎週金曜日の夜8時半過ぎから樋口清輝選手と約15分にわたりテコンドーと教育を題材とした番組「元気熊本使おう電波みんなのラジオ・テコンドー樋口清輝とPちゃんのたいぎやなよか話」を放送好評オンエア中、テコンドーPRに一役かっている。

番組では、県協会行事やテコンドーへの思いを樋口選手が熱く語る!



収録風景

夏季強化合宿に63名が参加! 8月1日~2日 阿蘇青少年交流の家



県選手強化委員会による夏季強化合宿が8月1日から2日にかけて阿蘇青少年交流の家で63名が参加して行われた。今回、大分県協会からも8名が参加、崇城大OBで元大津支部長、島田仁信氏も現在は、大分県協会で指導をしているため久しぶりの里帰りとなった。開始式では、大分県協会、長野修士理事長がこの合宿が実りあるものとなり、大分、熊本の選手交流がさらに深まることを期待しますと挨拶、続いて樋口会長が、きつい練習になると思うが、自分を追い込むことも大切、負けない気持ちを養ってほしいと激励。西村紀幸強化委員長、樋口清輝強化委員が中心となり体力訓練、ミット練習、スパーリングに汗を流した。

2日、午後からは、同体育館で夏季昇級審査会も並行して行われ、小学生から一般までの90名が受験、合格目指して真剣に取り組んでいた。

テコンドー応援納豆発売決定

熊本県所属シドニーオリンピック男子-58キロ代表の樋口清輝選手(28)のスポンサーである、株式会社丸美屋が、9月より『テコンドー応援納豆』を発売することを決定しました。日頃から常にテコンドーに対しての理解と応援をして下さる(株)丸美屋のご好意です。

是非ともお買い求め戴き、食卓でのテコンドー普及にご協力くださいませ。

●注文先(株)丸美屋

●フリーダイヤル0120-389-199

●規格 40g×3パック

●価格 160円

●送料 ヤマト便による商品代引きとなります。※冷凍保存も可能です。

●受付時間 9時~18時まで(土・日・祝祭日を除く)

●入数 12個

●注文数1ケース単位 ※1ケース:1,920円



※大会結果の詳細はホームページに掲載

全九州大会10階級でV! 牧野、潮崎ベテラン勢が活躍! 第20回全九州選手権大会 8月23日 大分県中津市九州ダイハツアリーナ



大健闘・熊本県選手団



試合の様子

全国的にも歴史のある九州大会、今年の20回目となる記念すべき大会は、大分県中津市で開催された。38階級に260名の選手が参加し、例年以上に参加者も多く会場は熱気に包まれた。開会式には、主催者である大分県協会、山内英生会長の主催者挨拶に続き中津市長の歓迎挨拶と続く、開会式終了後、特別ゲストとして北京五輪に出場した岡本依子選手と地元大分県協会の女子ジュニア選手によるデモンストレーションも行われ、大会に華を添えた。今回、熊本県勢は26階級に45名が出場、10階級で優勝を飾るほか、準優勝9名3位11名の計30名が入賞を果たした好成績となった。一般シニア -80Kg級では高校生ながら優勝を果たした阪上弘一選手(宇土)、-87kg級、+87kg級では牧野信一選手(玉名)、潮崎史裕選手(川尻)のベテラン選手が昨年に続ぐ優勝を飾った。

-68kg級に出場した重松威一郎選手(水前寺)は、怪我に悩まされながら久々の九州大会出場のベテラン選手、苦しみながらも決勝に進む、決勝戦の相手は数々の大会で上位入賞を果たしている強敵、中里将史選手(長崎)1~2ラウンドとポイントで有利に試合を進めた重松選手だったが、3ラウンドに逆転され惜しくも優勝はならなかった。しかしながら30歳を過ぎての現役選手の健闘に拍手を送りたい。

ジュニア選手も活躍、小学生高学年では5年中量級を制した中西一将選手(宇土)6年中量級で初優勝した西田亮選手(不知火)、中学生では西村純選手(阿蘇) 本田涼夏選手(強化)などが頂点にたった。

第8回熊本県城南地区テコンドーオープン大会開催! 9月13日 宇土市武道館

第8回熊本県城南地区テコンドーオープン大会が宇土市武道館で城南地区的7道場の他川尻・富合・託麻・崇城大学・専大玉名高のオープン参加道場を含めた66名が出場し開催された。開会式では城南地区、4道場の小学1年生4名が元気よく選手宣誓競技が開始された。ジュニア選手が多い城南地区とあって保護者の応援にも熱が入り、大会は盛り上がった。10月4日、第3回熊本オーブン大会では新ルールでの採用となるため本大会も同ルールで開催された。最優秀選手には女子で唯一男子のトーナメントに出場して見事優勝した田川春一(八代)選手が獲得した。



記念撮影

牧野信一選手(玉名)重量級でV野口嘉津馬選手は準V 本田千尋選手も3位入賞 第3回西日本地区大会 9月20日 大阪産業大学体育館



優勝した牧野信一選手

来年2月に開催される全日本選手権の選考会となる西日本地区大会が9月20日、大阪産業大学体育館で、関西、四国、中国、九州地区から137名の選手が出場し、全日本への出場権をかけ熱戦が繰り広げられた。県協会からは5名の選手が出場し-87kg級 +87kg級(合同級)に出場した牧野信一(玉名)選手が優勝した他、同級では県勢同士の決勝となり2位となった野口嘉津馬(熊大)女子 -57kg級で3位となった本田千尋(強化)3名が全日本への出場権を獲得した。全日本選手権出場者は、すでに出場が決定している樋口清輝、中山北斗、渡辺雄二、津田ひかる選手の3名を加えた6名が出場することになった。

KKTテレビタミンでテコンドーをアピール!岡本・樋口 9月30日 熊本県民テレビ内スタジオ

夕方の人気番組のひとつである熊本県民テレビ「テレビタミン」に今回、岡本依子、樋口清輝の両名が特別出演しテコンドーをPRした。番組では、司会者の頭にリンゴを載せて回転回し蹴り(ターンチャギ)で割る演武を樋口選手が披露すると、司会者も恐怖で一瞬真っ青になつたが、見事に割れてホットする場面もあった。10月4日、開催の第3回熊本オーブンのPRも行い、約15分程度の出演は、無事終了、テコンドーの普及とPRに一役かつたテレビ出演だったといえる。